

令和6年度 主なご意見・ご提言と回答

NO.	受理日	ご意見内容	回答内容
1	5月下旬	自治体によっては、生ごみ処理機に助成金が出るところがあるそうです。以前より夏場の暑さも増していますし、砂川でも生ごみ処理機の購入に助成金を出すようにはなりませんでしょうか。ご検討宜しくお願い致します。	「生ごみ処理機購入に対する助成金を出すようにできないか」とのご質問ですが、多くの自治体では「生ごみ」を「燃やせるごみ」と混ぜて収集し、そのまま焼却するか埋め立てるかといった処分をしており、処理にかかる費用や負担の軽減のため、「生ごみ」を減らすための取り組みを行っています。 一方、当市では「生ごみ」を分別・収集して、砂川地区保健衛生組合の中間処理施設「くるくる」でメタン発酵させ、その際に発生したガスで発電を行い、施設内で使用されています。この方法は購入する電気を減らすことにより、処理にかかる経費を下げ、市民の皆様の負担を減らす目的もあることから、資源となる「生ごみ」の量を減らす助成をすることについては難しい状況です。 今後、ごみ処理の在り方や施設の維持管理などを考えていく必要があることから、いただいたご要望につきましては検討に当たって参考とさせていただきます。この度はご提案まことにありがとうございます。
2	2月中旬	砂川市の防災訓練の必要性について 「市町内会連合会からの市理事者への要望意見」で、千歳第一町内会からの要望意見を上げ、回答を頂きました。その時は「町内会からの防災訓練要望があれば個別に対応する」でしたが私は不満でした。ところが、私が見ている本日のフェイスブックに「南幌町の防災訓練」記事が紹介されています。是非見て参考にさせていただきたい。「地震を想定し、冬季避難の実際を想定した訓練」です。自衛隊・日赤等の応援を頼みながら、無暖房・電気なし・炊き出し・非常食等私の理想と考えていた訓練でした。砂川でも夏季や冬季訓練で、他に市役所近辺では水害、焼け山地区等は土砂崩れ、袋地地区は水害による孤立など考えられます。また千歳町内会地区等の避難経路策定の研修など、ぜひ検討をしていただきたい。	砂川市では令和4年度よりコミュニティセンターや老人憩いの家を会場として、近隣地区の町内会を対象とした冬期避難所訓練を実施しております。今年度についても、実際に備蓄している段ボールベッドやワンタッチパーテーションを使った避難所運営訓練や非常食体験等を行う冬期訓練を予定しています。 今後も開催を予定しておりますので、今回頂いたご意見や情報、対象町内会の要望等を参考に訓練内容を検討していきたいと思います。 よろしくお願いいたします。